

【問題用紙】

問題 1 トレンデレンブルグ歩行はどの筋麻痺で起こるか。あ 1-78

1. 脊柱起立筋
2. 大殿筋
3. 中・小殿筋
4. 大腿四頭筋

問題 2 腰椎椎間板ヘルニアで誤っているのはどれか。あ 1-83

1. 坐骨神経痛を伴うことが多い。
2. ギックリ腰ではじまることが多い。
3. 椎間孔が拡大する。
4. 後側方に脱出することが多い。

問題 3 スポーツ外傷に多い組合せで誤っているのはどれか。あ 1-85

1. 肩関節脱臼 ————— ラグビー
2. 脛骨骨折 ————— スキー
3. アキレス腱断裂 ————— ジャンプ
4. 脊椎分離症 ————— 卓球

問題 4 ラセーグ試験が陽性になる疾患はどれか。あ 1-86

1. 胸椎後縦靭帯骨化症
2. 胸椎黄色靭帯骨化症
3. 第5-6頸椎間椎間板ヘルニア
4. 第4-5腰椎間椎間板ヘルニア

問題 5 いわゆる五十肩について誤っているのはどれか。あ 1-87

1. 肩関節周囲炎が一因となる。
2. 帯を結ぶのが困難となる。
3. 痛みは寒冷時に増強する。
4. 予後不良である。

問題 6 深部腱反射が亢進するのはどれか。はき 1-60

1. 神経根障害
2. 末梢神経障害
3. 錐体路障害
4. 脊髄前角障害

問題 7 外転運動で正しいのはどれか。はき 1-61

1. 足部を外側方に屈曲する運動
2. 肩関節で上肢を正中線から側方に挙げる運動
3. 膝関節を伸展させる運動
4. 手部を背側方に向ける運動

問題 8 多関節筋はどれか。はき 1-62

1. 上腕筋
2. 大殿筋
3. 外側広筋
4. 大腿二頭筋

問題 9 第6頸椎脱臼骨折による脊髄損傷患者の初期にみられるのはどれか。はき 1-76

1. 呼吸停止
2. 痙性麻痺
3. 弛緩性麻痺
4. 交代性麻痺

問題 10 膝半月板損傷でみられるのはどれか。はき 1-77

1. 前方引き出し症状陽性
2. 後方引き出し症状陽性
3. 嵌頓症状
4. 側方動揺性

問題 11 関節形態が球関節であるのはどれか。あ 2-69

1. 肩関節
2. 肘関節
3. 膝関節
4. 足関節

問題 12 三角筋の支配神経はどれか。あ 2-75

1. 長胸神経
2. 筋皮神経
3. 尺骨神経
4. 腋窩神経

問題 13 アキレス腱反射の反射中枢はどの脊髄分節か。あ 2-76

1. C3, 4
2. C5, 6
3. L2, 3
4. S1, 2

問題 14 重症筋無力症でみられない症状はどれか。あ 2-84

1. 眼瞼下垂
2. 意識障害
3. 呼吸筋麻痺
4. 嚥下困難

問題 15 神経痛と痛みの部位との組合せで誤っているのはどれか。あ 2-85

1. 三叉神経痛 ——— 舌
2. 正中神経痛 ——— 手掌
3. 肋間神経痛 ——— 側胸部
4. 坐骨神経痛 ——— 大腿前面

問題 16 疲労骨折の起きやすい部位はどれか。あ 2-87

1. 大腿骨骨幹部
2. 鎖骨中央部
3. 脛骨下部
4. 橈骨骨幹部

問題 17 次の文で示す患者について最も考えられる疾患はどれか。あ 2-88

「68歳の男性。約100m歩くと左の殿部から下腿部にかけて疼痛が生じる。しばらくしゃがんでいると症状は消失する。」

1. 腰椎分離症
2. 脊柱管狭窄症
3. 脊椎骨粗しょう症
4. 変形性股関節症

問題 18 総腓骨神経麻痺で正しい症状はどれか。あ 2-93

1. 足関節の伸展ができない。
2. 知覚異常はない。
3. 足の指の背屈はできる。
4. 鉤足になる。

問題 19 歩行と疾患との組合せで誤っているのはどれか。はき 2-59

1. 間欠性跛行 ————— 進行性筋ジストロフィー
2. すくみ足歩行 ————— パーキンソン症候群
3. 失調性歩行 ————— 小脳変性症
4. トレンデレンブルグ歩行 ————— 先天性股関節脱臼

問題 20 臍部の皮膚知覚の支配神経はどれか。はき 2-64

1. 第7胸神経
2. 第10胸神経
3. 第1腰神経
4. 第5腰神経

問題 21 膝蓋腱反射について正しい記述はどれか。はき 2-66

1. 表在反射の一つである。
2. 反射中枢は脊髄にある。
3. ビタミンD欠乏症で亢進する。
4. 坐骨神経の疾患で減弱する。

問題 22 進行性筋ジストロフィー症について誤っている記述はどれか。はき 2-73

1. 遺伝性疾患である。
2. デュシェンヌ型は青年期に発病する。
3. 骨格筋の萎縮を生じる。
4. 登はん性起立がみられる。

問題 23 頸椎後縦靭帯骨化症が多くみられる部位はどれか。はき 2-75

1. C1
2. C3
3. C5
4. C7

問題 24 ギラン・バレー症候群の症状でないのはどれか。はき 2-76

1. 四肢の脱力
2. 片側の顔面麻痺
3. 嚥下障害
4. 呼吸障害

問題 25 脱臼の症状で誤っているのはどれか。はき 2-77

1. 発赤
2. 疼痛
3. 変形
4. ばね様固定

問題 26 先天性股関節脱臼について誤っている記述はどれか。はき 2-79

1. 女兒に多い。
2. 開排制限がある。
3. 大腿内側の皮膚溝が非対称となる。
4. 内反足を伴う。

問題 27 L5 - S1 椎間板ヘルニアの所見で誤っているのはどれか。はき 2-80

1. ラセーグ徴候陽性
2. 膝蓋腱反射消失
3. アキレス腱反射消失
4. 腓腹筋筋力低下

問題 28 主に四肢近位に筋萎縮がみられる疾患はどれか。あ 3-74

1. 筋萎縮性側索硬化症
2. 多発性神経炎
3. 筋ジストロフィー
4. 脳卒中後遺症

問題 29 いわゆる五十肩について誤っている記述はどれか。あ 3-86

1. 肩の運動は制限される。
2. 関節腔は拡大している。
3. 上肢帯筋の萎縮が起こる。
4. 保存的療法が基本である。

問題 30 坐骨神経痛をきたしにくい疾患はどれか。あ 3-87

1. 悪性腫瘍の骨転移
2. 腰椎椎間板ヘルニア
3. 帯状疱疹
4. 閉塞性動脈硬化症

問題 31 変形性膝関節症の成因について誤っているのはどれか。あ 3-88

1. 職業
2. 年齢
3. 脚気
4. 関節炎

問題 32 症状と麻痺神経との組合せで正しいのはどれか。あ 3-92

1. 鷲手 ————— 尺骨神経
2. 下垂手 ————— 正中神経
3. 尖足 ————— 大腿神経
4. 兔眼 ————— 三叉神経

問題 33 アキレス腱反射が消失する椎間板ヘルニアの部位はどれか。はき 3-65

1. L2-L3間
2. L3-L4間
3. L4-L5間
4. L5-S1間

問題 34 反射と病態との組合せで誤っているのはどれか。はき 3-66

1. 深部反射亢進 ————— 多発性神経炎
2. 病的反射 ————— 錐体路障害
3. 深部反射減弱 ————— 筋ジストロフィー
4. 姿勢反射異常 ————— 脳性麻痺

問題 35 ギラン・バレー症候群でみられない症状はどれか。はき 3-80

1. 急性発症
2. 四肢脱力
3. 髄液のタンパク細胞解離
4. 振戦

問題 36 大腿骨頸部内側骨折について誤っているのはどれか。はき 3-81

1. 老人に多い。
2. 下肢は外旋位をとる。
3. 骨頭への血行は保たれている。
4. 骨癒合に長時間を要する。

問題 37 骨粗鬆症について誤っているものはどれか。はき 3-82

1. 閉経後の女性に発生しやすい。
2. 海綿骨の骨梁が減少する。
3. 腰背部痛の原因となる。
4. 脊椎圧迫骨折があれば手術を行う。

問題 38 椎間板ヘルニアについて誤っているのはどれか。はき 3-83

1. 脱出した髄核が神経根を圧迫する。
2. L5-S1間のヘルニアでは大腿四頭筋の筋力が低下する。
3. 単純エックス線写真で椎間腔は狭小化する。
4. 再発を繰り返す患者には手術を行う。

問題 39 検査について誤っている組合せはどれか。あ 4-73

1. トーマステスト ————— 股関節の屈曲拘縮
2. ラセーグテスト ————— 頸部脊椎症
3. マクマレーテスト ————— 膝半月板損傷
4. 膝の引き出しテスト ————— 十字靭帯断裂

問題 40 測定部位で誤っているのはどれか。あ 4-74

1. 上肢長 : 肩峰と橈骨茎状突起との間
2. 下肢長 : 上前腸骨棘と内果との間
3. 大腿周径 : 膝関節裂隙の位置
4. 下腿周径 : 下腿の最大部位

問題 41 運動麻痺で誤っているのはどれか。あ 4-75

1. 片麻痺 : 一側の上下肢
2. 対麻痺 : 一側上肢と反対側下肢
3. 単麻痺 : 四肢のうちの一肢
4. 四肢麻痺 : 両側上下肢

問題 42 正しい組合せはどれか。あ 4-92

1. スワンネック変形 ————— 尺骨骨折
2. アキレス腱断裂 ————— つま先立ち不能
3. テニス肘 ————— 肘関節脱臼
4. ジャンパー膝 ————— 膝関節の異常可動性

問題 43 先天性股関節脱臼の症状で正しい記述はどれか。あ 4-93

1. 大腿内側皮膚溝は左右対称である。
2. 下肢の延長がみられる。
3. 開排制限がみられる。
4. 歩行開始後には大転子低位がみられる。

問題 44 障害と部位との組合せで正しいのはどれか。あ 4-94

1. 前十字靭帯損傷 ————— 肩関節
2. 環椎破裂骨折 ————— 腰 椎
3. 脊椎分離症 ————— 胸 椎
4. コーレス骨折 ————— 橈骨下端

問題 45 検査法で誤っている組合せはどれか。はき 4-62

1. スパーリングテスト ————— 椎間孔圧迫テスト
2. ブラガードサイン ————— 神経伸展テスト
3. アレンテスト ————— 胸郭出口部圧迫テスト
4. ファレンテスト ————— 末梢血管圧迫テスト

問題 46 疾患と症状との組合せで正しいのはどれか。はき 4-83

1. 変形性関節症 ————— 安静時痛
2. 坐骨神経痛 ————— 腱反射亢進
3. 脊柱管狭窄症 ————— 間欠性跛行
4. 胸髄損傷 ————— 四肢麻痺

問題 47 骨粗鬆症で正しい記述はどれか。はき 4-86

1. 骨の絶対量が減少する。
2. 脊柱は前弯する。
3. 血清カルシウムは低下する。
4. 骨皮質は厚くなる。

問題 48 骨折について正しい記述はどれか。はき 4-87

1. 粉碎骨折とは複雑骨折のことである。
2. 骨端部骨折では関節の機能障害を生じやすい。
3. 骨折部位を中心に約 15 c m の副子を当てる。
4. 骨に銅線を刺入して牽引する方法を介達牽引法という。

問題 49 骨折の症状で誤っているのはどれか。あ 5-70

1. 限局性圧痛
2. 異常可動性
3. ばね様固定
4. 機能障害

問題 50 骨折部位で最も癒合しにくいのはどれか。あ 5-84

1. 鎖骨中央部
2. 橈骨下端部
3. 大腿骨頸部
4. 踵骨体部

問題 51 脊椎骨粗しょう症に関連して誤っている記述はどれか。あ 5-85

1. 腰痛の原因となる。
2. 骨塩量が減少する。
3. 脊椎圧迫骨折が起こりやすい。
4. 閉経後に進行が遅くなる。

問題 52 先天性股関節脱臼の乳児期の症状で誤っているのはどれか。あ 5-86

1. トレンデレンブルグ徴候陽性
2. 大腿皮膚溝の非対称
3. バーローテスト陽性
4. クリックサイン陽性

問題 53 神経麻痺とその症状との組合せで誤っているのはどれか。あ 5-90

1. 正中神経 ————— 猿手
2. 橈骨神経 ————— 下垂手
3. 尺骨神経 ————— 鷲手
4. 脛骨神経 ————— 下垂足

問題 54 頸肩腕痛の原因とならない疾患はどれか。はき 5-61

1. 胸郭出口症候群
2. 後縦靭帯骨化症
3. 頸椎椎間板ヘルニア
4. 手根管症候群

問題 55 スポーツ障害と障害部位との組合せで適切でないのはどれか。はき 5-62

1. 野球肘 ————— 上腕骨内側上顆骨端線
2. 野球肩 ————— 肩鎖関節
3. ジャンパー膝 ————— 膝蓋靭帯
4. 疲労骨折 ————— 脛骨骨幹部

問題 56 深部反射とその中枢との組合せで誤っているのはどれか。はき 5-68

1. 上腕二頭筋反射 ————— C5-C6
2. 上腕三頭筋反射 ————— Th1-Th2
3. 膝蓋腱反射 ————— L2-L4
4. アキレス腱反射 ————— S1-S2

問題 57 脊髄損傷の合併症とその処置との組合せで誤っているのはどれか。はき 5-77

1. 呼吸麻痺 ————— 酸素マスク
2. 過高熱 ————— 副腎皮質ステロイド薬
3. 褥瘡 ————— 体位変換
4. 尿閉 ————— 導尿

問題 58 第4・5腰椎間椎間板ヘルニアの症状で正しいのはどれか。はき 5-78

1. 膝蓋腱反射消失
2. ラセーグ徴候陽性
3. アキレス腱反射消失
4. 母指底屈力低下

問題 59 筋萎縮性側索硬化症の症状で誤っているのはどれか。はき 5-88

1. 深部反射の減弱
2. 線維束性攣縮
3. 嚥下障害
4. バビンスキー反射陽性

問題 60 安静時腰痛を特徴とするのはどれか。あ 6-72

1. 脊椎骨の先天奇形
2. 骨粗しょう症
3. 悪性腫瘍の脊椎転移
4. 変形性脊椎症

問題 61 神経痛の起こらない神経はどれか。あ 6-75

1. 三叉神経
2. 副神経
3. 坐骨神経
4. 肋間神経

問題 62 捻挫について誤っている記述はどれか。あ 6-88

1. 無理な関節運動を強いられたときに起こる。
2. 関節面の損傷である。
3. 受傷外力と同一方向の外力により疼痛が再現する。
4. 急性期には患部を冷やす。

問題 63 五十肩（肩関節周囲炎）について正しい記述はどれか。あ 6-89

1. 肩甲上腕関節の運動制限がある。
2. 結髪困難は内旋制限による。
3. 結帯困難は外旋制限による。
4. 腱板の萎縮はない。

問題 64 腰椎椎間板ヘルニアについて誤っている記述はどれか。あ 6-90

1. L5-S1間のヘルニアではラセーグテストは陽性である。
2. L2-L3間のヘルニアでは大腿神経伸展テストは陽性である。
3. L5-S1間のヘルニアではアキレス腱反射は正常である。
4. 坐骨神経痛は臀部から足部にかけて放散する。

問題 65 三叉神経痛を発症しやすい疾患はどれか。はき 6-64

1. 上顎洞炎
2. 扁桃炎
3. 喉頭炎
4. 内耳炎

問題 66 鶏歩を示すのはどれか。はき 6-68

1. 腓骨神経麻痺
2. 進行性筋ジストロフィー症
3. 片麻痺
4. パーキンソン病

問題 67 外傷性脱臼について正しい記述はどれか。はき 6-81

1. 関節包は破れていない。
2. ばね様固定を認める。
3. 習慣性脱臼と陳旧性脱臼は同じである。
4. 整復後痛みがなければ他動運動を開始する。

問題 68 変形性関節症について誤っている記述はどれか。はき 6-82

1. 成人の半数以上にみられる。
2. 膝関節に好発する。
3. 運動開始時の痛みが特徴的である。
4. 強直を起ししやすい。

問題 69 骨粗鬆症について誤っている記述はどれか。はき 6-83

1. 骨の化学的成分は正常である。
2. 骨の絶対量は減少する。
3. 閉経後に生じるのは高回転性である。
4. 甲状腺機能亢進症でみられる。

問題 70 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。はき 6-87

1. 意識障害
2. 顔面神経麻痺
3. 感冒様前駆症状
4. 四肢麻痺

問題 71 ベル麻痺の症候でみられないのはどれか。はき 6-88

1. 兔眼
2. 味覚障害
3. 聴覚過敏
4. 顔面痛覚鈍麻

問題 72 運動麻痺の症候でないのはどれか。あ 7-67

1. 下垂手
2. 太鼓ばち指
3. 猿手
4. 尖足

問題 73 トレンデレンブルグ徴候はどの関節の障害で起こるか。あ 7-71

1. 肩関節
2. 肘関節
3. 股関節
4. 膝関節

問題 74 マックマレーテストが陽性となる疾患はどれか。あ 7-72

1. 半月板損傷
2. 十字靭帯損傷
3. 側副靭帯損傷
4. 膝蓋靭帯損傷

問題 75 ベル麻痺の症状でないのはどれか。あ 7-82

1. 味覚障害
2. 難聴
3. 兔眼
4. 閉口不全

問題 76 変形性膝関節症の症状で誤っているのはどれか。あ 7-89

1. 運動開始時痛
2. 大腿四頭筋の肥大
3. 膝蓋跳動
4. 内側関節裂隙部の圧痛

問題 77 五十肩について誤っているのはどれか。あ 7-90

1. 原因は退行性変性
2. 肩関節可動域は正常
3. 運動時の痛み
4. 運動療法の適応

問題 78 腰部椎間板ヘルニアの症状で誤っているのはどれか。あ 7-91

1. 放散痛
2. 解離性知覚障害
3. 筋萎縮
4. 深部反射低下

問題 79 骨粗しょう症について誤っている記述はどれか。あ 7-92

1. 骨の化学的組成に異常がある。
2. 閉経後に多く発症する。
3. 病的骨折を起こしやすい。
4. 運動が予防に重要である。

問題 80 腰下肢痛患者に行うテストはどれか。はき 7-62

1. ジャクソンテスト
2. ラセーグテスト
3. ヤーガソンテスト
4. ライトテスト

問題 81 関節可動域検査の原則で誤っているのはどれか。はき 7-63

1. 測定には角度計を用いる。
2. 直立したときの関節の肢位を基本とする。
3. 自動的可動域で表示する。
4. 健側と患側とを測定する。

問題 82 母指球に萎縮がみられるのはどれか。はき 7-64

1. 筋皮神経麻痺
2. 尺骨神経麻痺
3. 橈骨神経麻痺
4. 正中神経麻痺

問題 83 罹患神経と疾患との組合せで正しいのはどれか。はき 7-72

1. 正中神経 ————— 手根管症候群
2. 視神経 ————— ギラン・バレー症候群
3. 動眼神経 ————— ベル麻痺
4. 腓骨神経 ————— 梨状筋症候群

問題 84 ラムゼイハント症候群で正しい記述はどれか。はき 7-73

1. 顔面神経麻痺が起こる。
2. 深部反射が亢進する。
3. 呼吸筋麻痺が起こる。
4. 味覚は正常である。

問題 85 胸郭出口症候群の診断に有用なテストはどれか。はき 7-79

1. パトリックテスト
2. ライトテスト
3. ヤーガソンテスト
4. ブラガードテスト

問題 86 スポーツ障害の組合せで誤っているのはどれか。はき 7-80

1. 衝突症候群 ————— 水泳肩
2. 上腕骨外側上顆炎 ————— テニス肘
3. 使いすぎ症候群 ————— 疲労骨折
4. 絞扼性症候群 ————— 野球肘

問題 87 形態異常の組合せで正しいのはどれか。はき 7-81

1. 先天性股関節脱臼 ————— 処女歩行遅延
2. 先天性内反足 ————— X 脚
3. 生理的内反膝 ————— O 脚
4. 外反母指 ————— 間欠性跛行

問題 88 手根管症候群でみられない徴候はどれか。あ 8-70

1. 手掌のしびれ
2. レイノー現象
3. 母指球の萎縮
4. チネル徴候

問題 89 肩関節周囲炎について誤っているのはどれか。あ 8-85

1. 40～60 歳代に好発
2. 夜間痛
3. 関節包の拡大
4. 結帯動作の制限

問題 90 鶏歩に関係する神経はどれか。あ 8-86

1. 大腿神経
2. 脛骨神経
3. 腓腹神経
4. 総腓骨神経

問題 91 腰部脊柱管狭窄症で誤っている記述はどれか。あ 8-87

1. 先天性と後天性とがある。
2. 腰椎屈曲位で痛みが軽減する。
3. 安静時痛がある。
4. 間欠性跛行がある。

問題 92 高齢者の大腿骨頸部骨折の骨癒合が起こりにくい理由はどれか。あ 8-88

1. 骨修復能が低下している。
2. 関節包外骨折である。
3. 骨折の中枢側が充血状態となる。
4. 骨折片間に圧迫力がかかる。

問題 93 脱臼直後の処置として適切でないのはどれか。はき 8-62

1. 整復
2. 固定
3. 冷却
4. 関節穿刺

問題 94 骨粗鬆症で骨折しにくい部位はどれか。はき 8-63

1. 脊椎椎体
2. 頭蓋骨
3. 大腿骨頸部
4. 橈骨遠位端

問題 95 ギラン・バレー症候群で誤っているのはどれか。はき 8-71

1. 髄液タンパク減少
2. 四肢脱力
3. 深部反射減弱
4. 顔面神経麻痺

問題 96 変形性関節症でヘバーデン結節のみられる関節はどれか。はき 8-78

1. 指関節
2. 肩関節
3. 股関節
4. 膝関節

問題 97 第4-5腰椎椎間板ヘルニアについて正しいのはどれか。はき 8-80

1. ラセーグテスト陰性
2. 膝蓋腱反射正常
3. 下腿後面部の感覚鈍麻
4. 大腿四頭筋萎縮

問題 98 小児の上腕骨顆上骨折について誤っている記述はどれか。はき 8-81

1. 肘を伸ばして転倒したときに起こる。
2. 筋皮神経が損傷されやすい。
3. 上腕末端部に強い自発痛が生じる。
4. フォルクマン拘縮の予防が必要である。

問題 99 膝関節のスポーツ外傷で誤っている組合せはどれか。はき 8-84

1. 前十字靭帯損傷 ————— ラックマンテスト
2. 内側側副靭帯損傷 ————— 外反動揺性
3. 外側側副靭帯損傷 ————— 引き出し症状
4. 半月板損傷 ————— マクマレーテスト

問題 100 筋萎縮性側索硬化症でみられない症候はどれか。はき 8-86

1. 線維束攣縮
2. 深部反射亢進
3. 筋力低下
4. 不随意運動

臨床医学総論&臨床医学各論

整形外科疾患の問題集①

【解答用紙】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

臨床医学総論&臨床医学各論

整形外科疾患の問題集①

【解答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	3	4	4	4	3	2	4	2	3
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	4	4	2	4	3	2	1	1	2
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2	2	3	2	1	4	2	3	2	4
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
3	1	4	1	4	3	3	2	2	3
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
2	2	3	4	4	3	1	2	3	3
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
4	1	4	4	2	2	1	2	1	3
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
2	2	1	2	1	1	2	4	3	1
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
4	2	3	1	2	2	2	2	1	2
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
3	4	1	1	2	4	1	2	3	4
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
3	1	4	2	1	1	2	2	3	4